

第2回調布市ふれあいの家指定管理者候補者選定審査委員会
議事録要旨

- 日 時 令和5年9月29日（金）10:00～11:40
- 場 所 調布市文化会館たづくり 10階 1001学習室
- 出席者 古本委員，林田委員，宇治委員，
宮田委員，村上委員，小泉委員，深沢委員，萩原委員
- 欠席者 なし
- 傍聴者 なし
- 議 題 1 開会
2 審査基準に基づく審査
(1) 利用者の平等な利用を確保できるものであること
(2) 施設の効用を最大限に発揮し，利用者サービス向上が図られるものであり，管理経費の削減が図られるものであること
(3) 管理を安定して行う組織的能力を有していること
(4) 施設の適切な維持管理が図られるものであること
3 その他
4 閉会

○内 容

1 開会	
2 審査基準に基づく審査（項目ごとに事務局から説明→審査）	
(1) 利用者の平等な利用を確保できるものであること	
委員長	・各ふれあいの家の運営委員会がそれぞれの環境に応じて自主的に管理をしていて，施設ごとに1団体が予約出来る回数制限を設定している印象がありますが，その回数制限の影響で稼働率が上がらないということはない，という理解でよいでしょうか。

事務局 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ その通りです。 ・ 他のコミュニティ施設，例えば地域福祉センターなどの場合は，施設ごとに対応が違うのか，また，一律なのかを教えてください。
事務局 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域福祉センターについては，業務委託による市の直営施設なので，一律の利用ルールとなっています。 ・ ふれあいの家は，それぞれの地域特性に合わせて，利用者要望を含めて回数制限を決めているということでしょうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ その通りです。利用状況などの地域の特性や，利用者の要望なども考慮しながら，制限等を弾力的に変えることができるという部分が，地域の自主管理の利点の一つと考えています。
副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ ふれあいの家の稼働率について，コロナ禍である令和4年度の実績を示して頂きましたが，コロナ前の令和元年度と比較して，令和4年度が極端に低いということはないでしょうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度の実績ですが，令和元年度と比べては，概ね同程度，または少し低い程度の数値になっていると認識しております。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後ふれあいの家の稼働率が上がってくるとすることも想定しながら，引き続き，それぞれのふれあいの家において，利用者要望との兼ね合いを考慮しながら運営いただきたいということは，付帯意見としてお願いしたいと思っています。利用者の年齢層が高い施設が多いので，コロナ禍では利用率は抑制されやすいですが，今後，稼働率が上がってくるときにどのように取扱うかは，調整していただくということをお願いできればと思います。
<p>(2) 施設の効用を最大限に発揮し，利用者サービス向上が図られるものであり，管理経費の削減が図られるものであること</p>	
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ ふれあいの家の設置目的は，ふれあいの家条例の第1条に出てくるもので，今回提出があった事業計画では全てのふれあいの家でその記述がありました。また，市でも設置目的に沿った運営をしているかを点検していて，その結果は良好ということですので，大きな課題はないと理解しました。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設置目的を理解しているかという審査基準について，資料2-1(1)のサ

	<p>サービスの提供のうち、「設置目的に沿った施設等の貸出」という項目で評価しているという説明でしたが、そこを評価する時には、どのような点で判断されたのでしょうか。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスの提供は、施設の稼働率、利用者アンケートの結果やその対応などを基に評価をしています。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・それら全体を総括して、目的に沿った運営ができていると判断し、評価したということでしょうか。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・審査基準1の「ふれあいの家の設置目的を理解してますか」についての確認を、資料2-1の資料の中から読み取っていくものと理解しましたが、その認識でよいでしょうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・その通りです。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケートの結果にある、Logoフォームについて説明をお願いします。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・Logoフォームとは、電子化したアンケート調査です。通常ですと、利用者アンケートは、利用者の方に紙を配布し、その紙を提出してもらうことで集計していますが、Logoフォームでは、QRコードを読み取ることでスマートフォンなどの媒体から回答ができます。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・その結果を見ると、98%は紙で回答しており、電子化の視点からすると、インターネット予約は、その必要性を認めつつも、これまで通りのアナログな方法が期待されている部分があることも想定できますので、今後、導入の検討が必要と感じました。 ・ふれあいの家を自主管理として、利用者ニーズを汲み上げるということは必要ですが、完全に運営委員会に任せるということではなく、市と運営委員会で相互に連携し、一緒に考えていくという方向が良いと思います。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネット予約について、各ふれあいの家で利用者層が多様であり、自主管理という中では、受付方法も多様なので、すぐに、一律の基準で導入するというのは難しいと考えています。今後については、運営委員会とのモニタリングの機会などを通じて、地域の主体性と利用者の利便性を両立するような形での導入を検討する必要があると考えています。市と運営委員会が情報共有、連絡を密にしながら、利用者にとって良いものを、運

<p>委員長</p>	<p>営委員会と市の適切な役割を踏まえながら進めていきたいと考えています。</p> <p>・インターネット予約を導入して、実際に受付を行うのは運営委員会なので、そちらの体制整備なども踏まえ検討いただければと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>・利用者の年代は70代以上が多いことが分かります。高齢者にインターネットを使用した予約は難しいという場合に、従来の受付方法とインターネット予約の両方を行うのは、運営委員会では難しいと思いますので、それを踏まえて検討いただければと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>・ふれあいの家では、70代以上の方の利用が多いことは承知していますので、インターネット予約の導入を検討するにあたっては、実施時期や、導入方法を一律とするかなど、今後、運営委員会と協議をしていきたいと考えております。補足になりますが、他のコミュニティ施設である地域福祉センターでは、今年の10月から、インターネットによる予約システムを導入します。利用者の年齢層に、高齢の方が多いところは共通しているので、そちらでの反応も踏まえて進めていきたいと思っています。</p>
<p>委員</p>	<p>・地域の方に自主管理していただいているということで、利用者が要望をしやすいという面があると思いました。インターネット予約については、高齢者でスマートフォンを持っている方がいても、それを利用するまでには至っていないような状況だと思いますので、そこを踏まえて検討いただきたいと思っています。</p>
<p>委員長</p>	<p>・一律にどちらかだけの運用にするのではなく、運営委員会には利用者の意見を丁寧に汲み取っていただきつつ、市とも連携して、利用状況を判断しながら、利用者要望の受け入れを考えていただければと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>・資料2-3について、富士見町ふれあいの家は利用料金収入が減少していますが、大きな改修工事などがあったのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>・富士見町ふれあいの家では、外壁・屋上防水、給排水、電気設備及び内装を含む大規模な改修工事をいたしまして、それに伴い5ヶ月間の休館をしたことが、利用料金収入減の一要因と考えています。</p>
<p>委員長</p>	<p>・資料2-3の令和4年度収支について、東部ふれあいの家の運営基金が少ないようですが、問題はないのでしょうか。</p>

事務局	・市で運営委員会へのモニタリングを年に2回実施し、その際には今年度の執行状況、予算状況などの聞き取りをしており、基金の増減についても確認をしております。その結果を踏まえ、東部ふれあいの家については、施設の適正な運営について、問題はないと認識しております。
委員	・令和2年度には、コロナ禍で指定管理料を増加したとのことですが、資料2-4の基金の推移を見る限りでは、前年度比で減額になっていることは、その増額分が適切に運営に活用されたと考えてよいのでしょうか。
事務局	・コロナ禍に伴う利用料金収入の減少分を、追加交付をした指定管理料を基に、消毒液の購入や休館に伴う利用料金の還付対応業務に充当するなど、執行した結果がこの推移に表れていますので、適切に運用されたと考えています。
委員長	・前回の選定審査委員会の際に、他の運営委員会が行っている取組を、他の運営委員会に情報共有した方がいいという意見が出ていました。国領ふれあいの家のふれあいコンサートのような基金の活用を、他の運営委員会に情報提供することは、市との連携の中で行っていただければと思います。
(3) 管理を安定して行う組織的能力を有していること	
委員	・資料3-2について、大町ふれあいの家の運営委員会人数が10名減少していますが、要因を教えてください。
事務局	・大町ふれあいの家の運営委員数がもともと多かったという点も踏まえ、運営委員会で組織体制の見直しを行った結果、10名削減し、18名体制でも問題なく運営可能であるという判断がなされた上での結果です。
委員	・人の入れ替わりがないということは、安定しているという見方ができる反面、自治会を主体とした運営委員会では、高齢化という課題があるかと思えます。これまで審議をする中で、行政と運営委員会が連携することが大切という話が出たと思いますが、スマートロックのような技術的支援のほかに、運営をより安定させるために行政が考えていることがあれば教えてください。
事務局	・スマートロックの導入や、運営委員会へ受付業務の効率化の提案は継続したいと考えています。より安定して運営を続けていくというところに向

副委員長 事務局	<p>けては、清掃など、運営委員が直接行っているような業務を外部委託することなども、必要に応じて、市から提案をしていきたいと考えています。そのための取組の一つとして、外部委託するためにはその経費が必要となりますので、指定管理料の見直しも視野に入れながら、運営委員会と市で協議をして進めていきたいと考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで、運営委員会から具体的な支援の要望はありましたか。 ・運営委員が担う、受付などの主となる業務以外は、運営委員会の外部に依頼したいという声がありますが、外部に依頼するとなると、金銭面の課題があるという意見がございました。そのため、先ほど申し上げた必要な支援の協議検討とともにデジタル化についても、情報を収集しながら、そのような提案もできるようにしたいと考えております。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・この御時世ですから、単に運営委員の年齢で判断できない部分もあります。前回の指定管理更新時から75%継続いただいているということで、安定しており、運営委員会の構成としては自治会というバックグラウンドがありますので、組織体制は今のところは大きな課題はないと考えられます。他方で、清掃などについては、運営委員会の要望に応じて、外注なども想定していただきたいと思います。現状の体制は承認しつつも、方向性としては、運営委員会も市で行う支援策をある程度意識していただき、より安定した体制を維持することに努めることを付帯意見とさせていただきます。

(4) 施設の適切な維持管理が図られるものであること

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいの家において、実際にAEDを使用した、救急車を呼んだ回数について、分かる範囲で教えてください。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・把握している範囲では、そういった事例ありません。
副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・私の知るところでは、大町ふれあいの家で選挙の際に急病人がありAEDで対応したということは聞いたことがあります。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・AEDは市が設置しているものですが、緊急事態が起きた時に使用をするのは運営委員会だと思います。そのような場合に備え、講習会をやっているか、やる予定があるのかを含めてお聞かせください。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまでは、運営委員会で独自に実施したというのは聞いています。今後につきましては、モニタリングの時に使い方などをお伝えするほか、以前にも実施しましたが、運営委員会の代表者会議において、実際にDVDを見て使い方を学んでいただくことなどを考えています。補足になりますが、地域福祉センターでは、今年度AEDを外付けにしたので、協働推進課で所管しているコミュニティ施設のAED設置場所のチラシを、自治会宛てに配付しました。地域の方についても、AEDの重要性や使い方について、今後周知をしていきたいと考えております。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5年前の指定管理者候補者選定審査委員会では、監視カメラの設置という話がありましたが、そちらは進んでいるものと認識しています。 ・ AEDにつきましても、全施設で使用可能ということが分かりました。使い方については、機会を設けて周知していくようにお願いします。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本審査委員会からの総括意見といたしまして、今回申請を行いました17の各ふれあいの家の運営委員会を指定管理者の候補として適正と認め、市長へ報告させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。 (全会一致で承認) <p>では、意義なしということでございますので、本委員会からはこのように市長に報告をさせていただきます。</p>
3 その他	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本審査委員会の付帯意見は、委員長に一任することを全会一致で承認
4 閉会	